

著書、学術論文等の名称	単著 共著 の別	発行又は発表 の年月	発行所、発表雑誌 等又は発表学会等 の名称	概 要
1 (原著) 就実大学薬学部生の人体解剖学実習で遭遇した腹部血管の変異について	共著	2017年1月	就実大学薬学雑誌	就実大学薬学部生の卒業研究において人体解剖を行ったところ、腹腔動脈に変異を認めた。腹腔動脈の分枝は左胃動脈と脾動脈のみで、総肝動脈は上腸間膜動脈から分枝していた。右胃動脈は総肝動脈から分枝していた。腎動脈にも変異を認めた。腎動脈は左右共に2本ずつみとめた。5頁(洲崎悦子, 藤原有里, 松下舞, 徳永智典, 東裕子, 平松梓, 廣井円香, 福田裕司, 隅田寛, 石村和敬, 青山裕彦) おもに解剖指導を担当したが、共同研究に付き本人担当部分抽出不可能。
2 (原著) 就実大学薬学部生の人体解剖学実習で遭遇した胸腹部動脈の変異について	共著	2016年1月	就実大学薬学雑誌	就実大学薬学部生の卒業研究において人体解剖を行ったところ、胸腹部に動脈の変異を認めたので報告した。1例は腕頭動脈から左総頸動脈が起始する例。1例は左胃動脈から右下横隔動脈が分岐する極めてまれな例であった。またこの例では副肝動脈が上腸間膜動脈から分岐していた。7頁(洲崎悦子, 仲宗根輝俊, 福島有夏, 領家洋夏, 木瀬なつみ, 木下菜, 山川直樹, 隅田寛, 石村和敬, 青山裕彦) おもに解剖指導と発生学的考察を担当したが、共同研究に付き本人担当部分抽出不可能。
3 (著書) Atlas of Developmental anomalies in Experimental Animals Visceral Anomalies	共著	2015年5月	薬事日報社	多くの企業、施設の協力により提供された異常・変異の写真について、日本先天異常学会で審査プロジェクトを組み、診断、説明の妥当性を審査し内臓異常についてまとめた。176頁(Y.Ooshima, M. Fujiwara, K. Chihara, Y. Izumi, Y. Katsumata, H. Sumida, M. Ema, K. Kosaki) 共同研究に付き本人担当部分抽出不可能
4 (著書) Atlas of Developmental anomalies in Experimental Animals External Anomalies	共著	2015年3月	薬事日報社	多くの企業、施設の協力により提供された異常・変異の写真について、日本先天異常学会で審査プロジェクトを組み、診断、説明の妥当性を審査し外表異常についてまとめた。158頁(Y.Ooshima, M. Fujiwara, K. Chihara, Y. Izumi, Y. Katsumata, H. Sumida, M. Ema, K. Kosaki) 共同研究に付き本人担当部分抽出不可能
5 (原著) Formal genesis of the outflow tracts of the heart revisited: Previous works in the light of recent observations	共著	2010年9月	Congenital Anomalies	心大血管の正常発生について、いままでの実験結果に基づいて総説的に解説した。上行大動脈のすべてと大動脈弓、肺動脈の1部は大動脈脳由来であること。右室室上稜の心筋細胞は二次心形成領域に由来すること。両大血管の形成に、物理的な回転は生じないことについて論じた。これらの論点は大血管転換の説明に重要な寄与をする。18頁(岡本直正, 秋本尚孝, 日高惟登, 荘司俊益, 隅田 寛) 担当部分: 実験と論文執筆の一部を担当した。連絡先著者(担当頁抽出不可能)